

【地区活動報告】

2021-2022年度 国際ロータリー第2640地区 地区大会

地区は、3月27日(日)フェニーチェ堺で、本年度の「地区大会」本会議を開きました。本年度もコロナ禍のため、当初の予定を変更し、地区役員、クラブ会長、幹事等に出席者を限定し、感染防止に対応した開催となりました。



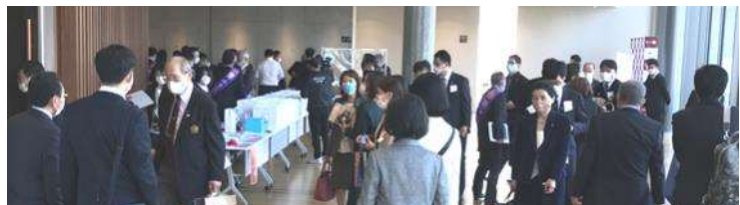
歓迎のジャズ演奏でオープニング。豊岡 敬ガバナーの開会宣言、点鐘で開始し、堀野 俊男 実行委員長が挨拶。続いて、吉村 善美 富田林市長が来賓あいさつを述べました。次にRI会長のビデオメッセージ、地区内現況報告、登録者数報告、信任状報告、午前中に開いた選挙人会議の報告で大会決議などが行われました。



続いて、基調講演では、建築家の安藤忠雄氏から「人生100年 いかに生きるか」の講演があり、ユーモアを交えたバイタリティーの溢れたトークで大会を盛り上げました。

また、この後の表彰式では、地区大会記念ゴルフの表彰、意義ある奉仕賞など、各部門の表彰が行われました。最後は、ホストクラブ・富田林ロータリークラブの辰巳 泰啓会長の閉会宣言で幕を閉じました。

なお、当日の様子は、YouTubeでライブ配信されました。



2022-2023年度のための 会長エレクト研修セミナー (PETS)

地区は、3月19日(土)10:30から、和歌山県JAビルで、次年度のための 会長エレクト研修セミナー (PETS) をZOOM併用で開きました。初田次年度地区代表幹事の司会で進行、森本ガバナーエレクトの開会点鐘で始まりました。各クラブの会長エレクトが一堂に会し、次年度のスタートに向けて午後4時まで研修しました。

初めに次年度研修リーダー、地区役員、特別幹事、幹事、地区委員長紹介があり、豊岡ガバナーが挨拶。中野次年度地区研修リーダーからセミナーの趣旨説明がありました。続いて、森本ガバナーエレクトから国際協議会報告として、次年度 RIテーマ「イマジン ロータリー」、次年度のガバナー基本方針として、次年度の地区スローガン「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」など、会員増強や課題を説明しました。次に「クラブ会長の役割等」のテーマで、中野次年度地区研修リーダー (PDG) が講義し、会長の役割などの説明がありました。



このほか、次年度予算(案)の説明や公式訪問の日程、今後の行事予定などの説明、次年度地区委員会活動および依頼事項について、①社会奉仕委員会 ②青少年交換委員会③ロータリー財団委員会④米山記念奨学委員会⑤会員増強・維持／女性活躍・推進委員会⑥雑誌・公共イメージ委員会⑦IT・ガバナー月信委員会⑧オンソー・メルボルン委員会の活動計画をそれぞれ次年度委員長が説明しました。

最後に、RI日本事務局の概要と最近のRIの活動について、動画を視聴し閉会しました。出席した各クラブの会長エレクトは長時間、熱心に受講し、次年度に向けて始動しました。



ロータリー財団補助金管理セミナー（Zoom配信）



地区は、3月12日（土）13:00から、けやきONE 4階会議室をホームステーションにZOOM配信で、2021-2022年度のロータリー財団補助金管理セミナー開きました。

林 俊行 地区R財団補助金小委員長の司会で進行、豊岡 敬ガバナーの点鐘で開会。中野 均 地区R財団委員長から、ロータリー財団補助金について、説明があり、引き続き、財団学友の西岡 摩帆さんから、ロータリー財団学友帰国報告を受けました。



西岡さんは2018-2019年のグローバル奨学生でイギリスのノッティンガムでの留学についてスライドを画面共有で報告。



The University of Nottingham

- イギリス内で広いキャンパスの1つ
- 約30,000人の学生
- 中国とマレーシアにもキャンパスを持つ
- ノーベル経済学賞: Clive Granger



2022年3月12日 ロータリー財団補助金管理セミナー「イギリス・ノッティンガムでの大学院留学」

Wollaton Park地区のロータリアンとの交流 (2/2)

- RIBI Conference and Showcase 2019に参加
 - イギリスのロータリークラブが年に一度国内外での目立った活動を報告する会議
 - 大きなテーマはポリオの撲滅に係る活動報告
- プライベートでは、クリスマスディナー、日本料理、ダンス教室への参加、車いすテニス世界大会に参加



2022年3月12日 ロータリー財団補助金管理セミナー「イギリス・ノッティンガムでの大学院留学」



留学によって得られた体験や現地ロータリークラブの交流を通じて、多くのことを学び、素晴らしい留学であった旨の報告が行われました。

38クラブから、ロータリー財団委員長など、約60名の受講があり、地区からは委員、役員13名の参加がありました。R財団の重要性を再認識していただきました。

最後に、谷 宗光ガバナーノミニーが閉会のあいさつをして終了しました。